



展示場でのラジオゾンデ説明(上)
工具を使用したものづくり体験の様子(下)

「伊勢崎市ビジネス体験事業2022」 職場体験を実施

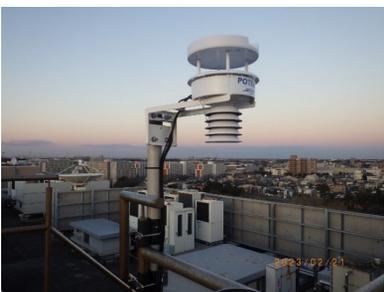
1月28日に伊勢崎市役所において開催した「伊勢崎市ビジネス体験事業2022」第1部(当社従業員による講演等)に続き、2月23日、第2部として当社の職場体験を実施しました。伊勢崎市在学または在住の高校生11名が参加しました。

展示場では、ラジオゾンデの歴史や計測震度計などの機能を説明したほか、第1部で講演をおこなった従業員の設計業務の様子や生産ラインを見学していただきました。さらに、クリーンルームでは宇宙開発機器の製造工程や熱真空試験について説明し、参加者から多くの質問がありました。また、当社の研修場である「技能伝承道場」ではものづくりの基礎を学んでいただくため、ネジ締めと圧着を体験していただきました。

参加者からは、「一つひとつ丁寧に製品がつくられていく様子を間近で見ることができてよかった。技能伝承道場でとても楽しく作業ができてよかった。ぜひ毎年実施してほしい」などの感想をいただきました。

今後も伊勢崎市と連携し、地域の次世代人材の育成に貢献できる活動を積極的に進めてまいります。

(担当:生産本部、宇宙防衛事業部、総務人事部)



設置したPOTEKA

千葉大学入江研究室にPOTEKAを設置

千葉大学の入江研究室(環境リモートセンシング研究センター)にPOTEKAを設置しました。入江研究室では、最先端のリモートセンシング技術による地球大気環境の変動状況や変動メカニズムの研究が進められています。気候変動やPM2.5問題を含む広域汚染問題などの、地球規模の大気環境に関係する研究です。

気候変動に伴う極端異常気象に対する社会的関心が高まる中、入江研究室主導の国際地上観測網(SKYNET、A-SKY)と、千葉大学に設置したPOTEKAの地上気象データを組み合わせることで、大気環境と気象の関係をリアルタイムに、総合的に把握することができるようになります。

明星電気は、これからもPOTEKA NETを拡充し、入江研究室も目標としている産学連携・地域貢献に役立つ気象情報を提供していきます。

(担当:気象防災事業部)



展示ブース

日越防災協働対話ワークショップでPOTEKAを展示

2月13日に、国土交通省とベトナム農業農村開発省が主催する日越防災協働対話ワークショップがハノイで開催され、POTEKAセンサ部と3L水位計のカタログを展示しました。

ベトナムでは豪雨や台風による水災害が頻発しており、質の高いインフラの整備や気象情報の収集が必要とされています。明星電気の気象観測システム・製品(POTEKA、3L水位計)を紹介し、災害時の情報収集・住民への情報提供に役立てられることを説明しました。展示ブースに来場いただいた方々からは、大きな関心が寄せられました。

今後も、気象情報に関する世界各地のニーズに貢献できるよう、明星電気の気象観測システムを、積極的に紹介・提案していきます。

(担当:気象防災事業部)

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。